



町政の課題

ただ
13議員32問を質す

ページ	質問者	質問事項
11	田谷 幸奏 議員	1. 平成25年度一般会計予算の執行状況について 2. 町政に関する情報の広報について 3. 災害に強いまちづくりについて
12	米重 典子 議員	1. 障害者に対する就労支援の現状と課題について 2. 地域医療を守り育てるための施策は
13	徳光 義昭 議員	1. 杭谷一東彫刻を町のシンボルに 2. 世羅町名誉町民の選考を 3. 「せらハッピーワインで乾杯」の条例制定を
14	盛谷 光明 議員	1. 介護給付費の受領委任払いのその後は 2. 胃がん予防対策について
15	下原 嘉雄 議員	1. “間伐材の活用”について 2. “ふるさと納税制度”の一層の取組について 3. “ごみ”資源循環型社会への対策は
16	生田 智康 議員	1. 宇津戸臭気問題について 2. 「より安全な飲料水の確保」への取り組みは
17	福田 豪 議員	1. インフォメーションセンター（仮称）は十分に説明責任が果たされたか 2. 条例等例規体系の見直しを求める
18	仲行 洋 議員	1. わが町の公共施設の老朽化対策は
19	矢山 武 議員	1. 合併特例が終わり地方交付税減が進むが、国への財政措置を求めている 2. TPPの年内妥結に向け、秘密交渉が進むがどう農業を守るか 3. インフォメーションセンター（仮称）の効果と維持管理は
20	新原 浩 議員	1. 自治センター運営と町対応 2. 行政の社会福祉協議会支援について 3. 「せら黒川明神山クロスカントリー大会」のイベントに町が共催として参画することについて
21	福田 義人 議員	1. 奥田町政 現時点の評価と課題は 2. 町の有害鳥獣対策の今後について 3. インフォメーションセンター（仮称）機能 どう活用する
22	仙光 保喜 議員	1. ゴミの収集業務、全て町内業者で 2. 子供達の課外活動をしやすい方向へ
23	岡田 武士 議員	1. 奥田町長の中山間8策について検証する 2. インフォメーションセンター（仮称）建設について 3. 国道184号の歩道整備を又街路灯はなぜ消えたのか

一般会計予算の 執行状況は

答 早期執行に心掛ける



田谷 幸奏 議員

田谷
当初予算概要に記載の新規事業及び継続事業並びに繰越明許費の執行状況はどうか。

町長
予算概要に記載の51事業の総額に、その後の補正予算を加算した総額12億4618万円の完了事業が4事業、契約ベースで5億4176万円執行率43・4%。
平成24年度繰越明許費の16事業、2億6526万円は契約ベースで8事業9313万円執行率35・1%。
引き続き早期完了に向け取り組んでいく。

町道の管理状況は

答 安全確保のため維持管理に努める

田谷

全国各地で異常気象による「これまで経験したことのないような大雨」が発生し、倒木や土砂災害により、道路が不通になるなど多大な被害が起きているが、町道の維持管理の状況はどうか。

町長

効率的かつ迅速な維持管理を行うため、旧町単位で路線委託業者を選定し、小規模補修・土砂撤去・倒木処理・清掃・パトロールなどの業務を委託している。
異常発見の緊急通報があった場合は、道路維持管理委託業者に連絡し、必要な対応をしている。



豪雨により被災した町道井庄原小谷線

町政に関する情報周知方法は

答 あらゆる方法で周知を図っている

田谷

町政執行の際は、その内容を町民に周知する必要がある。そのため「広報せら」、ケーブルテレビなどを利用して、十分に周知されているか疑問に思う。ケーブルテレビは、まだ有効活用する方法があると思うが、広報のあり方を問う。

町長

広報の手段は、広報紙、ケーブルテレビなどで行うほか、必要に応じて説明会などを開催している。今後とも「町民のための行政である」という基本的な役割を認識しながら、広報の充実を図っていく。また、ケーブルテレビの活用方法など検討する。

障害者就労支援の

現状と課題は

答 関係団体との連携を図り進める



米重 典子 議員

米重

障害者就労はどのような支援が行われているのか、課題は何か。役場や地元企業での雇用状況と企業への啓発活動は。

町長

地域自立支援協議会の中に就労支援部会を設け、障害者一人ひとりのニーズを把握し、ハローワークを始め関係団体との連携を図りながら、個々の能力や適性に応じた就労支援を進めている。しかし、通勤手段確保が困難であるため、就労先が限られるなど課題がある。

役場の障害者雇用率は3・19%で厚労省が示している雇用率を上回っている。地元企業の雇用状況は十分把握できていないが、事業所への通所から一般就労へと移行され、支援を受けながら就労を継続されている。啓発活動は、研修会の開催や、広報紙・商工会へのチラシ配布など取り組んでいる。

地域医療を守り育てるための施策は

答 住民との協働による医療を守る取り組みを



地域医療の中核 世羅中央病院

米重

町の医療体制の整備充実のためにどのような具体的施策がとられているか。

町長

中山間地域の中央病院である世羅中央病院の経費の一部を負担し、経営の健全化や、施設並びに医療機器等の充実を図っている。また、「かかりつけ医制度」や^{※1}コンビニ受診抑制の啓発活動も行っている。今年度新規事業「世羅町の医療を考える集い」の実施により町全体で地域医療を支えていく仕組みづくりや、医療資源を大切にしていける取り組みについて住民の皆様と共に考える機会にしたい。

※1 コンビニ受診＝ごく軽い症状で緊急性もないのに、夜間や休日に病院の救急外来をコンビニのように気軽に利用すること。



徳光 義昭 議員

杭谷一東彫刻を町のシンボルに

答 町のシンボルとして活用したい

徳光

平成26年開通予定の尾道松江線は、四国と連結する新しい動脈となる。本町には今高野山、花、果実、ワイン、駅伝の世羅高校、美しい世羅台地など多くの宝がある。そこに彫刻の薫る美しい町づくりを推進するため、インフォメーションセンターに国内最大級の杭谷彫刻「大天地花」を町のシンボルとして設置することを提案する。

町長

町民の理解、議会の承認が重要である。歴史、文化、芸術の街道として世羅町は要となる場所である。施設全体の事業費、予算の枠組みなど困難な部分もあるが、今後の町づくりには必要と思う。
杭谷氏の代表作品「大天地花」は他の市町に展示されたくない。



杭谷一東氏の作品「大天地花」

せらハッピーワインで乾杯条例の制定を

答 前向きに検討する

徳光

ワイン生産は、生産者の技術の向上、醸造技術者のたゆまぬ努力により、国産ワインコンクールで連続受賞された素晴らしい品質である。今回、合併10周年にあたりワインの普及を通し、地域活性化を図るため町民のワイン愛好家づくりが重要であり、「せらハッピーワインで乾杯」条例の制定を。

町長

せらワインは観光客やワイン愛好家に高い評価を受け、町域を越え旅するワインとなっている。ワインの普及には物語が必要である。ハッピーワインのネーミングは良いので利用したい。条例制定に向け前向きに検討する。

世羅町名誉町民の選考を

答 合併10周年記念事業として検討したい

徳光

名誉町民は、近藤芳美さん、大妻コタカさん、服部孝宏さんの三人の方が、平成16年10月1日に選定されている。今回、合併10周年を期に名誉町民の選考を提案する。

町長

合併10周年の節目を迎える。選考については、各方面からの意見を伺い検討する。

介護給付費の 受領委任払いのその後は

答 平成26年度導入に向けて検討



盛谷 光明 議員

盛谷

3月の一般質問で介護給付費を利用者が一旦全額負担する償還払いから、最初に1割自己負担を支払う受領委任払いにと要望した。「導入を検討したい」との回答だったが、進捗状況は。

町長

高齢者の経済的負担の軽減として重要であると認識しているが、電算システムの改修が必要となる。関係機関と協議し、平成26年度導入に向けて検討を重ねている。

ピロリ菌の除菌で胃がん予防対策を

答 総合健診への導入予定はない



医療保険の適用が拡大

盛谷

本年2月から、胃がん原因の一つとされるピロリ菌の除菌費用が慢性胃炎まで保険適用になった。ピロリ菌を早期に除菌することで胃がんの発症が大幅に減少すると言われている。そこでピロリ菌感染検査を総合健診に組み入れることを提案する。又ピロリ菌に関わる知識、情報を町民に提供してはどうか。

町長

厚生労働省の指針では、がん検診におけるピロリ菌検査の有効性評価は低いとされており、現段階では導入を予定していない。しかし、ピロリ菌除菌治療の対象疾患に慢性胃炎なども加わり医療保険の適用が拡大されたことから、医療機関においての検査や早期治療をされることが望ましいと考えている。

間伐材の活用は

答 森林・山村多面的機能
発揮対策事業を活用



下原 嘉雄 議員

下原

森林組合では森林活性化推進協議会を結成されたが行政の支援策は。

また、山林の整備は、個人で行う「自伐林業」と県が支援する「森づくり事業」をミックスして推進してはどうか。山林を整備することは鳥獣被害防止にもなる。まず身近な背戸山から取り組み環境美化を。

町長

今年度から「森林・山村多面的発揮対策事業」を推進する。内容は地域住民が活動組織を作って保全管理や、資源の活用、自然体験活動などを支援する。森林組合とも関わり方や連携について検討したい。

現在①切出した材の定まった用途があるか②受入先があるか③仲介業者は、重機や運搬車、危険が伴う作業など課題も多いが検討したい。

ふるさと納税の一層の取り組みを

答 多くの機会を通じて広報活動を更に務める

下原

この制度を推進する現行施策に加え①町ホームページのトップへ掲示②クレジットカードによる寄付③町内施設への優待などにより推進し、ふるさと参画意識の高揚に努めては。

町長

これまでも広島県人会でのPR・広島県大阪情報センターへパンフレットを置くなどしてきた。ふるさと納税制度を通じて世羅町のまちづくりへ参加願うように更に広報活動に努めたい。

ゴミ循環型社会への対策は

答 資源循環型社会へ

意識向上に努める



エコワイズセンター 監視業務

下原

町で収集されたゴミはエコワイズセンターで乾燥固形化し発電燃料として再利用されている。ゴミ出し時に水分を少なくすることにより効率が良い。分別などの意識向上対策を徹底しては。

町長

住民、事業者、行政が一体となり環境への負荷が少ない循環型社会システムの構築を目指している。紙類は資源化を、生ごみは堆肥化をすすめ、エコワイズセンターへの搬入量の減量化に取り組んでいる。3R※2で環境にやさしい生活実践プロジェクトにより地球温暖化対策と資源循環型社会へ貢献する住民の意識向上を図る。

※2 3R=○R1リユース ごみの再利用 ○R2リサイクル ごみの再商品化 ○R3リデュース ごみの減量

宇津戸臭気問題は

引き続き 指導監督する

生田

宇津戸臭気問題は18年経過したが、改善は見られない。7月末の臭気指数測定では、基準数値15を27と2倍近く上回っている。真剣な対応を。



生田 智康 議員

町長

7月末には極めて残念な数値が出た。事業者への指導も含め引き続き対応したい。ここ一年の取り組みは、先進地の神石エコファームを下飯屋公害対策委員会と合同で視察した。また本年7月まで6回の臭気測定を実施した。

東部養豚組合では4月に組織改革をし、水処理と堆肥処理を専属で行う環境管理部ができ、これまで2回の協議を行った。第三牧場焼却炉が昨年11月から本年6月まで肥料材料としての焼却灰の受け入れ需要が一時無くなり、休止していた。今後は事業者に対し安定した需要先の確保につき助言、指導し、早期に再稼働できるようにしたい。第四牧場の臭気対策は事業者が建て替える際、補助事業を検討し支援していきたい。

養鶏場は、引き続き改善計画に示された対策の指導に努めたい。

浄水場の安全確保は

防護柵・施錠・立ち入り禁止の表示を設置している



水道施設の安全対策を（さかえ浄水場）

生田

水道施設の安全確保対策は重要な問題である。さかえ浄水場を含め何力所もある水道施設への異物混入防止など安全対策は十分か。

町長

町内の水道施設は9施設。災害時の対策は水道事故緊急時等対応マニュアルに沿い、迅速かつ的確な対応をしている。さかえ浄水場の門扉の高さは保健所の指導の下に1・5m、フェンスの高さは2・1m設置している。門扉について検討していきたい。防犯カメラの設置については現在のところ考えていない。

インフォメーションセンター（仮称）の十分な説明を

答 広く説明し理解を求める



福田 豪 議員

福田豪

インフォメーションセンター（仮称）は、多くの町民から、必要性について懐疑的な声を聞く。

この原因は説明責任が十分に果たされていないことに尽きる。町の説明責任を果たすべきではないか。

町長

町の重要な観光産業の入
り込み客は減少傾向にあ
り、危機感をもっている。
尾道松江線の全線開通を機
に、戦略的情報発信拠点を機
整備する必要がある。町が
決定した事業内容などを広
く説明し理解を求めて行き
たい。



インフォメーションセンター（仮称）完成予想図

条例例規体系の見直しを

答 時代の変化に応じた改正を検討



条例例規は時代に即した体系整備が必要

福田豪

行政執行の根幹である条例などの例規は、時代に即した体系に整える必要があるのでは。予算執行には、一定のルールが必要であり、公平公正を担保するには、現在の例規体系では不十分であり、その見直しが必要と思うが。

町長

条例は議決案件であり、法令に違反しない限り制定できる。義務を課し、権利を制限することは条例によらなければならぬ。
時代の変化に応じた条例制定や改正を行えるよう検討する。

公共施設の老朽化対策は

【答】長寿命化修繕計画により対応



仲行 洋 議員

仲行

道路や橋などの公共施設が老朽化し、中央自動車道笹子トンネルの崩落事故が発生し、維持管理の課題が浮上した。わが町でも、老朽化したインフラの更新、補修に多額の費用を要すると思うが、どのように把握され計画されているのか伺う。また、維持管理を目的とした基金を創設したらどうか。

町長

橋梁は、平成23年度に策定した「世羅町橋梁長寿命化修繕計画」により、平成24年度で10橋の詳細調査及び設計業務を行い今年度補修する。これ以外の橋梁は、来年度以降も引き続き調査及び設計し補修工事を行っていく。道路関係はトンネル・法面・擁壁などの構造物、道路標識・舗装など、今年度より点検を実施する。

水道事業は、上水道・簡易水道事業合わせて9施設について、地域水道ビジョンを策定し計画的な施設更新を実施する。農業集落排水事業は13年経過しており老朽化対策を行う時期となっている。平成27年以降計画的に老朽化対策を進めていく。

町営住宅は、平成25年度から10年間の維持補修にかかる概算経費を見込んだ「世羅町営住宅長寿命化計画」を策定しており、古いものは除却する。

こうさん保育所37年、にしおおた保育所34年がそれぞれ経過しており、修繕と補修で対応しているが、今後のあり方を検討していく。

維持管理を目的にした基金の創設は考えていない。維持管理について、大きなものは起債の対象にしようとする動きもあり、動向をみて活用したい。



老朽化対策として修繕予定の高野橋

交付税減額反対を国へ

答 交付税維持で雇用拡大を図る

矢山

交付税が合併10年後から約11億円減額される。合併市町で協力し減額反対を国へ要望するとともに、財政調整基金の安全有利な活用や、計画的な町政運営を求める。元気臨時交付金の活用による雇用をどうめざすか。

町長

平成27年度から交付税が1億2000万円減額される。行革を進めて起債を141億円に減らし財政調整基金を35億円に増やした。実質公債比率は14・2%までに改善できた。

商品開発や、起業支援で雇用拡大を図る。また行政需要が交付税に算定されるよう引き続き要望する。更に基金については公金管理協議会で確実効率的に運用する。



矢山 武 議員

TPP交渉進むが農業を守れるか

答 低コスト化、多角化を進める

矢山

米価が下がる中、来年4月より消費税が8%に上げられようとしている。これ以上米価が下がれば農業は継続できない。TPPから撤退をすべきである。町の農業をどう進めるべきか。燃料や生産資材も上がったおり、イノシン被害も続いている。現況と今後の取り組みはどうか。

町長

五品目の例外扱いを望むが、低コスト化、多角化を実現し、持続的な農業をめざす。法人化を進め国の支援策を活用し、町の支援を検討する。鳥獣捕獲状況はイノシン161頭・シカ41頭を捕獲した。侵入防止柵を23地区で取り組む。



TPPで農業は守れるか

インフォメーションセンター（仮称）の効果と維持管理は

答 早急に運営管理者を

決め協議

矢山

尾道松江線の開通に伴い計画されているセンターは、多額の投資を行い、効果があるのか。町は建設費の負担や維持管理費が必要で、町民の理解を得て進めるべきである。どのようにして観光客を増加させ収入増につなげるのか。

町長

開花情報、イベント情報を提供し、来訪してもらう。きめ細かい案内でリピーターの増加を図る。商品・飲食の提供を検討しているが、早急に運営管理者を決めたい。一定の運営費は町が支出する計画であるが、販売収益を運営経費に充てていきたい。

自治センター運営と町対応は

答 協働の町づくりの施設として機能強化を



新原 浩 議員



黒川自治センター

新原

合併から8年を迎えて、自治センターの指定管理料見直しについて町の考えを問う。

町長

自治センター管理運営は、効率かつ効果的にされなければならぬ。地域課題に対応できる住民自治組織の主体的活動を支援する体制の在り方を検討している。来年度は指定管理期間の最終年度になり指定管理料を含めた業務の具体的内容について、実績などを踏まえ、各地域との協議を重ねて、あるべき指定管理料について検討する。

社会福祉協議会の支援は

答 安定的に事業を支援

新原

高齢社会に向けて将来を見据えた時、社会福祉協議会の活動が重要である。支援連携の強化を問う。

町長

高齢化率が36%を越え、多様化する福祉ニーズに因應するため、社会福祉協議会では地域の特性を踏まえさまざまな事業に取り組んでいる。町では福祉活動を支援し住み慣れた地域に安心して生活できる体制づくりの推進に連携する。

新原

今後増えてくると想定される成年後見人事業の取り組み支援は。

福祉課長

高齢者に関わる民生委員と介護保険事業をとあしでのケアマネージャーなどに対しては啓発や研修会を開催している。町広報で広く周知している。町でも成年後見人制度の利用のため、支援施策を設けている。住み慣れた町で安心して生活して頂けるよう推進していく。

せら黒川明神山クロスカントリー大会に町の共催を

答 世羅町体育協会と連携し振興をはかる

新原

町の活性化には交流人口を増大させる必要がある。駅伝のまち世羅の知名度を生かした施策展開をすべきでは。

町長

この大会に限らず地域や団体で行われている各種スポーツ大会やイベント事業は、各地域の主導で行われている歴史があり、町の共催は現在のところ考えていない。駅伝世羅と言う知名度を生かした施策展開については積極的に行っていく。



福田 義人 議員

奥田町政の評価と課題は

答 住みやすい町づくりを推進

福田義

「次世代に響を」とスタートした奥田町政の一年を振り返って、何が変わったか、今後何が必要か問う。

町長

健康祭り実行委員会への助成事業、浄化槽維持管理助成、小学校スポーツ指導事業、住宅リホーム補助、若手職員チャレンジ事業など、予算計上し実施しているが、時間のかかるものは内部検討を行っている。わが町も少子高齢化しているが、これからの進化しなくてはならない。みんなで住みやすく希望の持てる町を築きあげたい。

有害鳥獣対策の今後は

答 集落ぐるみで環境改善捕獲に取り組む

福田義

有害鳥獣対策は、各地域でメッシュ柵が張られ、ある程度の効果はあったが、再び個体数の増加が見え、各地域でイノシシ被害はもとより、鹿の食害や道路への飛び出しなど危険に達したと苦情が寄せられている。町民は、積極的な行政指導による被害防止対策を望んでいる。

町長

近年の捕獲状況は年々増加しているが、引き続き鳥獣被害対策実施隊による駆除の実施と侵入防止柵の両面から支援する。また、専門家による指導者研修会を実施する。新規免許取得者に費用の一部を助成する。

インフォメーションセンター（仮称）の機能は

答 町の魅力を発信する施設に

福田義

この施設で新たな観光客を引き込むと言ってきたが、その図式はない。必要なことは、将来にわたって機能する施設である。誰が管理するか具体化する時期にあるが。

町長

町内事情などをよく把握している団体に施設運営をしていただくことが必要と考える。たとえば観光協会を法人化し、委託の受け皿になっていただきたい。いずれにしても整備する施設が町の活力再生に結実する施設にしたい。



インフォメーションセンター（仮称）完成予想図



仙光 保喜 議員

ゴミの収集業務などを全て町内業者で

答 現在の業者において円滑・安定的に行われている

仙光

ゴミ収集処理は町の責任。処理は広域で取り組み、収集は町が直接業者に委託しているが、一部に町外業者がある。

1月14日成人式の日にとか雪があり、一部の地域は孤立状態に陥った。除雪業者も少なく有事の対応ができない。

今各地で起きている災害などの対応ができる町の体力を育てる必要があるのではないか。

町長

ゴミ収集の基準は遂行する上での施設・人員・経験等が重要であり、現在の委託業者においてゴミ収集業務は円滑・安定的に行なわれているので今後も継続していくよう考えている。



ゴミの収集業務

子どもたちの課外活動を

しやすい方向へ

答 情報提供を受けて

今後内部検討

仙光

子どもたちは学校だけでは習えないピアノなどを色々と学んでいるが、せらにしタウンセンターで発表会が持てない状況に在る。「教育の日」の制定を機会に子どもたちの情操教育向上のために施設の開放など考えては。

教育長

3月定例会で条例化した「教育の日」並びに教育月間ですが、今年は教育委員会の主導で様々な行事やイベントを考えている。提案の件は踏み込んだ情報提供を受ける中でどのような支援ができるか今後内部で検討していきたい。



岡田 武士 議員

町長の中山間 8策を検証する

答 希望のもてる町となるように努力する

岡田

中山間8策の進捗状況は。過疎が進んでいるが今後の対策は。

町長

中山間8策の中の多くの事業を平成25年度予算に計上し現在実施している。
町民、議員の皆様のご理解ご協力、また意見を頂きながら掲げている中山間8策を進め、希望のもてる町となるように努力する。

インフォメーションセンター（仮称）の建設は

答 新たな東の玄関口として整備する

岡田

①ワーキング会議の内容は②運営は官から民への流れになっているが③ゲートステージの利用方法は、④建設費や後年度の維持管理費は。

町長

目的は町の東玄関として道路休憩と高速バス乗降の場を有効に活用した観光案内館である。
民間のノウハウを生かした運営方法を検討する。ゲートステージはイベント舞台として観光客へPRする。
運営は、指定管理制度を前提に検討する。収支計画など詳細は実施設計中で、財源は交付金、過疎債で対応する。

国道184号の歩道の整備 及び街路灯はなぜ消えた

答 国道の管理は県

街路灯は複数の民間事業者の設置なので管理者へ要望をつなぐ

岡田

広島銀行交差点よりケント喫茶店の間の歩道が大変傷んでおり、街路灯も消えている。町はどのような対策をとるのか。

町長

町内の国道は東部建設事務所が維持管理を行っている。歩道の修繕要望は早急に伝える。この区間の街路灯は民間事業者が宣伝広告を兼ねて設置されていたもので、街路灯が消えたままであるのは設置者の判断による。交通安全を確保するために必要があると判断される場合は県に対し設置を要望する。



国道184号
(西上原)